

## 豊川市の将来像

## 光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち

光

「光」は、平和で希望あふれる未来に向かっての限りのない発展を表しています。

緑

「緑」は、あたたかい心に満ちた美しいふるさとを表しています。

ゆたか

「ゆたか」は、市民生活のなかで多様な選択が可能な、いきいきとしたまちを表しています。

住

「住」は、生活のすべての面で、より良く暮らすことのできるまちを表しています。

夢

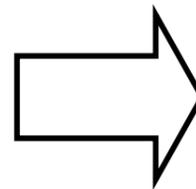
「夢」は、市民の夢を集め描く、創造性豊かなまちを表しています。

市の将来像は、「豊かな自然と歴史を守りながら、地域と行政が連携・協働し、すべての市民が安全で安心して健やかに暮らすことのできるまち」をめざすもので、豊川市が永遠に求める姿です。

この将来像を実現するために、第5次総合計画10年間のまちづくりの目標を次のように定めます。

『元気の出るまち、住みたくなるまち  
みんなでつくろう豊川』

私たちは将来にわたり、豊川市を誰もが「元気の出るまち」「住みたくなるまち」と実感できるようにしていきたい。この願いを本計画の目標とします。



## 第6次豊川市総合計画基本構想 都市の将来像（検討資料）

総合計画審議会の第1回会議の議論を踏まえ、第2回会議で素案を提示します。

～参考情報～

## ① これまでの総合計画における将来像

- ▼豊川市総合計画（策定：昭和47年3月）
  - ▼第2次豊川市総合計画（策定：昭和53年3月）
  - ▼第3次豊川市総合計画（策定：昭和61年3月）
  - ▼第4次豊川市総合計画（策定：平成8年3月）  
一宮町合併（平成18年2月）
  - ▼第5次豊川市総合計画（策定：平成18年3月）  
『光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち』  
音羽町、御津町合併（平成20年1月）  
小坂井町合併（平成22年2月）
  - ▼第5次豊川市総合計画基本計画改訂（平成23年3月）
- 『光と緑に映える豊かなまち』

## ② まちづくり中学生会議における目指すべきまちのイメージ

<住みたいまちミニ総合計画>

- ◆明るく活気のある安心して暮らせるまち
- ◆安全で生活しやすく経済が盛んなまち
- ◆緑が多く安全で活気あふれるまち
- ◆進化～自然豊かで楽しい充実した町
- ◆緑が多く安全で快適なまち

<訪れたいまちミニ総合計画>

- ◆活気に満ちあふれ、きれいで安全なまち
- ◆1日中楽しめる元気で温かいまち
- ◆観光できる施設が豊富なまち
- ◆年齢に関係なく 誰でも楽しめるまち
- ◆f a m o u s～活気があり緑豊かで伝統のあるまち～

## ③ 団体アンケートにおける意見

<豊川市のまちの良いところ>

- ◆建設・整備（90件）
- ◆産業・交流（43件）
- ◆教育・文化（25件）
- ◆健康・福祉（15件）
- ◆住みよさ（65件）
- ◆行政・協働（37件）
- ◆安全・安心（17件）

<豊川市のまちの物足りないところ>

- ◆産業・交流（77件）
- ◆建設・整備（34件）
- ◆健康・福祉（18件）
- ◆行政・協働（42件）
- ◆教育・文化（18件）
- ◆安全・安心（14件）

## ④ 東三河4市が掲げるまちの将来像

- ◆豊橋市 『輝き支えあう水と緑のまち・豊橋』（平成23～32年度）
- ◆蒲郡市 『三河湾に輝く 人と自然が 共生するまち 蒲郡』（平成23～32年度）
- ◆新城市 『市民（ひと）がつなぐ 山の湊 創造都市』（平成20～30年度）
- ◆田原市 『うるおいと活力のあるガーデンシティ』（平成25～34年度）